

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

議会事務局

議会事務局長の 中嶋 宏 でございます。

それでは、決算の概要について、御説明申し上げます。

令和6年度の議会事務局の

歳入予算現額は 1 9 6 万 2, 0 0 0 円、

調定額は 3 2 1 万 5, 2 2 2 円、

収入済額は 3 2 1 万 5, 2 2 2 円、

でございます。

歳入の主なものは、議員会館使用料でございます。

次に、

歳出予算現額は 1 2 億 3, 5 8 0 万 5, 0 0 0 円、

支出済額は 1 2 億 6 6 9 万 7, 3 7 7 円、

不用額は 2, 9 1 0 万 7, 6 2 3 円、

でございます。

歳出の主なものは、議員報酬や事務局職員の人件費、政務活動費交付金などでございます。

なお、不用額の主なものは、政務活動費の精算に伴う返戻金等でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについて御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の120ページを御覧ください。

議会事務局では、県議会や議員の活動を広く県民に知っていただくための広報事業を行っております。

具体的には、定例会ごとのテレビ、ラジオ放送を行うと

ともに、「県議会だより」を発行し、本会議での一般質問と答弁の様子や常任委員会の活動を紹介しました。

さらに、県議会のホームページにおいて、本会議のライブ中継や録画映像を配信するとともに、議会活動の紹介などを行いました。

この事業に係る決算額は6,360万8,000円でございます。

以上で、令和6年度の議会事務局の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、御審議の程、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

人事委員会事務局

人事委員会委員長の平田でございます。

令和6年度の決算の概要については、事務局長からご説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

(事務局長概要説明)

人事委員会事務局長の湯葉でございます。

それでは、決算の概要について、ご説明申し上げます。

令和6年度の事務局全体の

歳入予算現額は 1 3 7 万 9 , 0 0 0 円、

調定額は 6 5 万 8 , 3 0 1 円、

収入済額は 6 5 万 8 , 3 0 1 円、

収入未済額は 0 円、

でございます。

歳入は、町村等からの公平委員会事務の受託料でございます。

次に、事務局全体の

歳出予算現額は 1億4,219万6,000円、

支出済額は 1億3,711万6,189円、

不用額は 507万9,811円、

でございます。

不用額の主なものは、試験問題の貸与・採点業務委託料及び試験会場使用料の執行残でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主なものについてご説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の120ページから121ページをお開き願います。

まず、総務課では、「人材確保事業」として、職員採用試験を実施いたしました。

事務系の一般行政、学校事務及び警察事務、技術系の土木及び建築等の職種について、Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種試験等を実施し、

I種試験の早期募集枠は、受験者数382人、合格者数30人で、競争倍率12.7倍、

通常枠は、受験者数270人、合格者数148人で、競争倍率1.8倍、

社会人枠は、受験者数233人、合格者数41人で、競争倍率5.7倍、

II種・III種試験は、受験者数93人、合格者数22人で、競争倍率4.2倍でございました。

警察官については、大学卒業者等を対象とした警察官A採用試験、それ以外の方を対象とした警察官B採用試験を実施し、

警察官Aは、受験者数217人、合格者数60人で、競争倍率3.6倍、

警察官Bは、受験者数172人、合格者数39人で、競争倍率4.4倍でございました。

この他、社会福祉士、保健師、薬剤師等の資格免許職、障害者を対象とした事務系職員、育休任期付職員、会計年度任用職員等について試験を実施いたしました。

また、より多くの受験者を確保し、優秀な人材を得られるよう、職員採用説明会等を通じて、県職員の仕事の魅力や、やりがいについてアピールに努めているところであり、令和6年度は、和歌山市で開催した職員採用説明会において、会場参加に加え、Webを活用したフリートークを実施したほか、女性向けガイダンスをオンラインで開催、大学等への説明会を対面やオンラインで開催いたしました。

この他、職員募集パンフレット、ポスター等による広報活動を実施するとともに、「和歌山県職員採用情報サイト」において、職員紹介動画を追加するなど情報を充実させました。

この事業に係る決算額は、1,747万9千円でございます。

次に、職員課では、「給与制度運営調査・公平機能運営事業」として、職種別民間給与実態調査及び職員給与等実態調査を実施し、県議会議長及び知事に対して、職員の給与等に関する報告及び勧告を行いました。

この事業に係る決算額は、63万6千円でございます。

以上で、令和6年度の人事委員会の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

労働委員会事務局

労働委員会事務局長の ^{うえの}上野 でございます。

それでは、決算の概要につきまして、説明させていただきます。令和6年度の労働委員会の

歳出予算現額は 9千393万2,000円、

支出済額は 9千144万9,459円、

不用額は 248万2,541円、

でございます。

不用額につきましては、あっせん員報酬及び委員会運営等に係る事務費等の執行残です。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の121ページをお開き願います。

「審査・調整業務処理事業」として、不当労働行為救済申立てに係る審査の申立てはございませんでした。使用者と労働組合間の労働争議に係る調整につきましては、1件のあっせん申請を取り扱いましたが、年度内に打ち切りにて終結いたしました。

使用者と個々の労働者間の個別労働関係紛争に係る調整につきましては、1件のあっせん申請を取り扱い、こちらも年度内に打切りにて終結いたしました。

労働組合の資格審査につきましては、ございませんでした。

労働相談業務につきましては、129件の相談に応じました。

この事業に係る決算額は、48万4,000円でございます。

以上、令和6年度の労働委員会の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、御審議の程、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度

歳入歳出決算の概要説明

選挙管理委員会

〈委員長説明要旨〉

選挙管理委員会委員長の^{わか}和歌^{てつや}哲也でございます。

令和6年度の選挙管理委員会の歳入及び歳出決算の概要につきましては、事務局長の^{わくり}和久里から御説明申し上げます。

何卒、御審議の程、よろしくお願い申し上げます。

〈事務局長説明要旨〉

選挙管理委員会事務局長の^{わくり}和久里 ^{ともや}智也でございます。
す。

それでは、令和6年度の選挙管理委員会の決算の概要について、御説明申し上げます。

まず、歳入でございますが、市町村課分として歳入の
あったもののうち、選挙管理委員会関係の

歳入予算現額は 7億1,019万0,000円

調定額、収入済額とも

6億4,024万5,821円

でございます。

次に、歳出でございますが、選挙管理委員会の

歳出予算現額は 7億6,685万4,000円

支出済額は 6億9,308万0,319円

不用額は 7,377万3,681円

でございます。

不用額の主なものは、衆議院議員総選挙及び県議会議員有田市選挙区補欠選挙に係る執行残でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、主な事業について、御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の10ページをお開き願います。市町村課分として記載している事業のうち、選挙管理委員会関係では、

まず、「明るい選挙推進事業」として、選挙人の政治意識の向上のため、テレビ、ラジオスポットを用いた啓発を行うとともに、県内学校を対象とした出前講座や模擬投票等を実施いたしました。

この事業に係る決算額は、139万7千円でございます。

次に、令和6年9月1日に執行しました県議会議員有田市選挙区補欠選挙及び令和6年10月27日に執行しました衆議院議員総選挙における臨時啓発事業として、テレビ、ラジオ、インターネット等での広報活動等を実施し、県民に投票総参加を呼びかけました。

各事業に係る決算額は、「県議会議員補欠選挙臨時啓発事業」が62万円、「衆議院議員総選挙臨時啓発事業」が1,119万3千円でございます。

次に、各選挙の執行事業として、県議会議員有田市選挙区補欠選挙においては、有田市選挙管理委員会と、衆議院議員総選挙においては、国及び市町村選挙管理委員会と連携して適切な管理執行を行いました。

各事業に係る決算額は、「県議会議員補欠選挙執行事業」が1,149万2千円、「衆議院議員総選挙執行事業」が1,149万2千円、「衆議院議員総選挙執行事業」が1,149万2千円、

業」が6億2858万1千円でございます。

なお、各選挙における投票率は、県議会議員有田市選挙区補欠選挙が66.33%、衆議院議員総選挙が56.87%でありました。

引き続き、投票率の向上に向け、啓発活動に取り組んでまいります。

以上で、令和6年度の選挙管理委員会の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、御審議の程、よろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 度

歳入歳出決算の概要説明

監査委員事務局

代表監査委員 挨拶

代表監査委員の 田嶋 久嗣 でございます。

概要につきましては、事務局長から説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

令和6年度決算概要説明書

監査委員事務局長の 木村 高秀 でございます。
それでは、決算の概要について、ご説明申し上げます。
令和6年度の決算関係でございますが、今年度の
歳入決算額はございません。

次に、

歳出予算現額は 1億6,831万7,000円、
支出済額は 1億6,451万3,414円、
不用額は 380万3,586円、
でございます。

不用額は物件費等の執行残でございます。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、
ご説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の122ページをご覧ください。

「監査執行事業」として、本庁及び出先機関等
253箇所の監査を行った結果、指摘事項は3件、注意
事項は112件でございました。これは令和5年度と比
較して、指摘事項は1件の減少、注意事項は3件の増加
となっております。

この他、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算
審査並びに内部統制評価報告書の審査を実施し、また、

現金の出納事務が正確に行われているかを検査する現金出納検査を毎月実施いたしました。

監査等の実施にあたりましては、県の歳入及び歳出が法令、例規、予算等に従って適正に行われているかなどに留意して実施しております。

この事業に係る決算額1,697万2千円は、監査委員4名分の人件費と監査執行に要した経費でございます。

その他、監査委員の補助執行事務を行うための事務局費として、事務局職員18名分の人件費及び物件費として1億4,754万1千円を執行しております。

以上で、令和6年度の監査委員事務局の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。